

2022年度 Higg FEM ワークショップ

難易度★★★

2022年度版のHigg FEMのユーザー向けにワークショップを開催いたします。FEMは、サプライチェーンにおけるアパレル・ソフトウェアの製造工程に関するサステナビリティを評価するモジュールであり、環境マネジメントシステム、エネルギー、水、排水、排気、廃棄物、化学物質の7つのカテゴリーに分類されています。ワークショップでは、これらのカテゴリー毎にトレーナーが説明を行い、受講者の方もアウトプットを行いながら、参加型・体験型の学習を通じて理解を深め、自社の工場若しくはサプライチェーンでの実践に活用できるようにします。

講座No.	開催日	ワークショップ内容
1	5月17日(火)	1. SAC, Higg FEMとは 2. 現地(工場・施設)情報と許認可 3. EMS(環境マネジメントシステム)
2	6月21日(火)	1. エネルギー・GHG(温室効果ガス) 2. 水(用水)の使用
3	7月19日(火)	排水及び大気への排出
4	8月23日(火)	廃棄物
5	9月20日(火)	化学物質

場 所

「Zoomミーティング」を使用したオンラインワークショップです。

【タイムスケジュール】※全日程共通です

スケジュール

9:45～	入室(接続)開始
10:00～12:10 13:00～15:10	各テーマのワークショップ(※約1時間毎に10分の休憩有)
15:10～	退室(※退室後、アンケート画面が表示されますので回答にご協力ください)

受講料

1講座当たり／人
19,800円(消費税込み)

※ 開催日の1週間前に開催の可否を決定し、ご連絡いたします。開催が決定された後に請求書を発行いたしますので、その後請求書に記載のお支払期日までに銀行振り込みにてお支払いをお願い致します。

※ 従来の弊機構開催のオンラインセミナーとは異なりますのでご注意ください。

お申し込み

右記QRコード若しくはURLよりお申込み専用フォームへアクセスして頂きお手続き下さい(受講希望講座をお選びください)。



URL:

<https://www.boken.or.jp/seminar/seminar-10060/>

申込締切

各開催日の7日前

注意事項 ※必ずお読みください

本ワークショップに参加される方は、下記注意事項に同意されたとみなします。

■ ワークショップの開催可否について

ワークショップの開催可否は、ワークショップ開催日より約1週間前に決定致します。

■ お支払いについて

ワークショップ開催決定後、ご請求書をメール(PDF)にてお送りいたします。請求書に記載のお支払期日までに銀行振り込みにてお支払いをお願い致します。

■ キャンセルについて

お申し込み後、お客様の都合によりキャンセルされた場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。

- ・ 開催日の9日前～開催日の5日前まで: 受講料の50%
- ・ 開催日の4日前～当日: 受講料全額

代理出席は可能ですので、その際は担当者までご連絡ください。

■ オンラインワークショップ参加方法

参加申込みをされた方に、ワークショップ用の招待メールを、受講されるセミナー開催日前日までに送信します。招待メール内にあるURLをクリックして頂き、必要事項(氏名、会社名、メールアドレスなど)を事前登録し、その後ご参加下さい。

資料につきましては、ウェビナー用招待メールを送信する際に、そのメール内にレジュメダウンロード用のURLを添付させていただきます。お手数ですがそのURLよりダウンロードをお願い致します。

本ワークショップはZoomを用いて実施します。WordやExcelを用いた個人ワークもありますので、ブラウザからも参加可能ですが、パソコンにZoomのアプリをインストールし、最新版にアップデートした上でパソコンでご参加ください。また事前にテストミーティングを行い、ビデオ及びオーディオが正常に動作するか確認してください。テストミーティングは次のサイトから実施可能です。[テストミーティングに参加するには - Zoom ヘルプセンター](#)

本ワークショップは、双方向型です。受講者の画面が表示できるようカメラをご準備ください。

有線(LANケーブル)若しくは受信状態が良好なWi-Fi環境での接続をお願い致します。環境により通信状態が悪化することがありますが、受講者の責において対応をお願い致します。

■ 受講にあたっての事前知識

専門的な内容に関する事前知識は不要ですが、自社(自工場)における環境への負荷要因(エネルギー、水、排水、排気、廃棄物、化学物質)の管理方法及び環境マネジメントシステム運用について事前に確認しておくことを強く推奨いたします。

FEMの質問内容が知りたいという方は、How to Higg Guideをご参照ください。また、SACやHigg Index全体について学びたいという方は、SAC開催のウェビナーにご参加ください。

その他



既にFEMに取り組んでおり概要は理解しているが、更なるスコアの改善を目指している工場には、「キャパシティ・ビルディング」をおすすめしています。内容は;

- ・ 認定トレーナーが依頼者の工場を訪問し現状把握、特に改善したいカテゴリーに関するヒアリングを実施
- ・ 工場のFEM改善チームとともに現場に入り、仕組みの構築や改善内容を提案します。必要に応じて、その分野の専門家もご紹介いたします。

(2021年7月現在、このサービスは日本国内に限定しております。予めご了承ください)

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせさせていただきますよう、お願い申し上げます。